

第2学年 年間指導計画(生活 全105時間)

学習の目標	
○具体的な活動や体験を通して自立への基礎を養う。 ・自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりに関心をもつ。 ・自分自身や自分の生活について考える。 ・生活上必要な習慣や技能を身に着ける。	
学習の方法	
○見る、聞く、触れる、作る、探す、育てる、遊ぶなどの具体的な活動や体験を大切にする。 ○具体的な活動を通して気付いたことを言葉、絵、動作、劇化などの方法によって表現する。 その際、児童の気付きが質的に高まるように、見付ける、比べる、たとえるなど多様な学習活動の充実に配慮する。	
学習の評価	
○次の3つの観点にそって、どれだけ達成できたかを絵、ワークシート、活動の様子などにより評価する。 ①身近な生き物や環境に親しみ、楽しく体験しようとする。 ②活動や体験を通して見付けたことや気付いたことを工夫して伝えることができる。 ③活動や体験を通して、自分の良さや身近な人々、社会、自然とのかかわりなどに気付いている。	
単元名	主な学習内容
1 2年生だうれしいな	春の身近な地域の様子や自然を観察したり、新1年生と交流したりする活動を通して、四季の変化や、春を迎えて生活の様子が変わったことに気付くとともに、自分の役割が増えたことが分かり、自分自身の成長を喜び、意欲的に生活することができる。
(1) 学校の春を見つけよう	○自分たちの生活について考えたり、自然の様子を観察したりして、進級を実感し、2年生になって生活の様子が変化したことに気付くとともに、意欲的に生活する。
(2) 1年生をむかえよう	○1年生が安心して過ごせるように考えて、1年生を迎える活動を行い、上級生になって役割が増えたことを実感し、自分自身の成長に気付く。
(3) 春のまちを歩こう	○身近な地域の春の様子を観察し、地域にあるものや地域の人々に関心をもち、季節によって自然や人々の生活の様子が変わっていることに気付く。
2 おいしくそだてわたしの野さい	身近な植物の栽培に関心をもち、世話の仕方を自分で調べたり、人に聞いたりしながら、大切に世話をする中で、それらに生命があることや成長していることなどに気付くとともに、植物に愛着をもち、継続的に育てることができる。
(1) 野さいをそだてよう	○野菜を収穫することに関心をもち、自分たちで育てる植物をみんなで話し合って決め、適切に苗を植えたり、たねをまいたりして、それらの成長への期待や思いをもつ。
(2) 野さいのせわをしよう	○自分で植えた植物の変化や成長の様子に関心をもち、継続してかかわることを通して、それらに愛着をもち、植物の状態に合わせて、適切な世話をする。
(3) 野さいをしゅうかくしよう	○自分が育てた野菜の収穫の喜びを感じ、その思いやこれまでの世話の様子などを、自分なりの方法で表現したり、伝えたりする。
(4) サツマイモをしゅうかくしよう	○みんなで育てた野菜の収穫を喜びとともに、その利用方法をみんなで話し合い、決める。
(5) 野さいのことをつたえよう	○記録カードなどで、これまでの活動を振り返り、友達と意見を交換しながら新聞などにまとめ、お世話になった人や友達、家の人などに、植物を育てたことを伝える。
3 ときどきわくわくまちたんけん	身近な地域に出かけ、地域の人々とかかわりをもち、さまざまな場所やものを調べたり、利用したりして、それらが自分たちの生活を支えていることや楽しくしていることが分かるとともに、地域に親しみをもち、人々と適切に接したり、安全に気をつけて生活することができる。
(1) まちのことを話そう	○自分のお気に入りの場所や興味のあること、知っていること、ふしぎなことなど、自分と地域とのかかわりを紹介し合うことを通して、身近な地域に関心をもち、探検への意欲をもつ。
(2) まちたんけんの計画を立てよう	○友達と、安全に気をつけて探検に行くためのルールやマナーを話し合い、探検の計画を立てて準備する。
(3) まちたんけんに行こう	○グループごとにまち探検に出かけ、友達と協力しながら、地域の人にインタビューをしたり、地域にあるものを調べたり、利用したりして、地域の人のが分かるとともに、それらが自分の生活とかかわっていることに気付く。
(4) まちのことをつたえ合おう	○探検したことを振り返り、見つけたものや場所、解決したふしぎや出会った人のことなどを友達と伝え合い、地域には自分がかかわった場所や人以外にもさまざまな場所や人々がいることに気付く。
(5) まちで見つけよう	○諸感覚を使って地域を調べ、これまで意識しなかった地域のものやその役割に気付き、それを表現する。
4 生きものなかよし大作せん	生き物を採集したり、飼育や観察をしたりすることに関心をもち、それらの育つ場所、種類による世話の仕方の違い、変化や成長の様子、自分たちと同じように生命をもっていることなどに気付くとともに、生き物への親しみをもち、大切に飼育を続けたり、自分たちが育てた生き物のことを他者に伝えたりすることができる。
(1) 生きものをさがしに行こう	○身の回りの生き物に関心をもち、近くの公園や池、小川など、生き物のいそうな場所について、友達と教え合い、生き物を採集に行く計画を立てる。
(2) 生きものをつかまえよう	○安全に留意しながら、身近な地域に出かけ、生き物名人に教わったり、友達と相談したりしながら、工夫して生き物を採集する。
(3) 生きものをそだてよう	○採集した生き物を、学校で継続的に飼育するために必要なえさやすみかなどについて、みんなで話し合ったり、調べたりして考え、世話をし、生き物は生命をもっていることや成長していることに気付く、それらに親しみをもち、大切にする。
(4) 生きもの広場にしようたいしよう	○自分たちが大切に育ててきた生き物のことを振り返り、気付いたことや分かったことなどを、友達や身近な人々に、自分なりの方法で、分かりやすく伝える。
5 うごくうごくわたしのおもちゃ	身近にあるものを使って動くおもちゃをつくり、友達と競争したり、工夫を教え合ったりしながら、自分なりに改良することを通して、動くおもちゃのおもしろさやふしぎさを実感するとともに、遊び方を工夫しながら、みんなで遊びを楽しむことができる。

(1) うごくおもちゃをつくろう	○動くおもちゃで遊んだり、つくったりすることに関心を持ち、動く仕組みなどを考えながら、身近にあるものを使って、自分でおもちゃをつくる。
(2) もっとくふうしよう	○自分がつくったおもちゃで遊んだり、友達と競争したり、工夫を教え合ったりしながら、自分なりに改良することを通して、動くおもちゃのおもしろさやふしぎさに気付く。
(3) みんなであそぼう	○自分たちがつくったおもちゃで、遊び方やルールを工夫しながら、みんなで遊びを楽しむ。
6 みんなで行こうよつかおうよ	身近な公共施設へ行き、安全に気をつけて施設を利用する活動を通して、公共施設やそこにある公共物はみんなで使うものであることや、それらを支えている人々がいることが分かり、大切に使用したり、安全に気をつけて正しく利用したりすることができる。
(1) 図書かんへ行こう	○図書館へ行き、安全やマナーに気をつけて、本を読んだり、探したり、借りたりして利用することを通して、その場所は、自分たちだけでなく、さまざまな人が使う公共の場所であることに気付くとともに、施設を安全に、正しく利用する方法などが分かる。
(2) 図書かんのことを聞いてみよう	○図書館の職員やボランティアの人、利用者などとかかわることを通して、それぞれの思いや工夫に気付くとともに、安全に気をつけて、正しく、大切に利用したいという思いを持ち、それを自分なりに表現する。
(3) 行ってみようつかってみよう	○身近な公共施設を繰り返し利用しながら、その場所に愛着を持ち、それを支えている人々がいることに気付くとともに、安全に気をつけながら、正しく大切に利用する。
7 もっとなかよしまちたんけん	地域で生活したり働いたりしている人々と、話したり、いっしょに活動したりするなど、繰り返しかかわる活動をして、地域のよさに気付き、地域の人や場所への愛着を深めるとともに、人々と適切に接したり、地域で安全に楽しく生活したりすることができる。
(1) まちたんけんの計画を立てよう	○春のまち探検や、夏休みに行った場所、これまで体験した地域での出来事などを友達と伝え合う中で、もう一度地域の人に会いたいという思いを持ち、春のまち探検の経験などをとくに、みんなで話し合っ探検の計画を立てたり、準備をしたりする。
(2) まちの人に会いに行こう	○安全に気をつけて、約束を守りながら地域の人とかかわる中で、地域で生活したり働いたりしている人やさまざまな場所が自分の生活とかかわっていることに気付き、さらに地域の人とかかわりたい、なかよくなりたいたいという思いをもつ。
(3) もっとまちの人となかよくなろう	○もう一度探検に行き、そこで生活する人や働いている人と繰り返しかかわる中で、その人たちの地域への思いや工夫などに気付き、自分たちの地域にいる人や場所に親しみをもつ。
(4) なかよくなった人のことをしょうかいしよう	○地域でなかよくなった人などのよさを友達に伝えたいという思いを持ち、工夫して、相手に分かりやすく伝えることができる。また、伝え合う活動を通して、自分たちの地域にはすてきな人や場所がたくさんあることが分かり、地域への愛着をもつ。
(5) まちでさがそう	○地域のさまざまな施設の工夫やマークなどを探す活動を通して、地域には、みんなが使いやすくするための工夫や、いろいろなことを表すマークなどがあることや、その大切さに気付くことができる。
8 聞いて聞かせてまちのすてき	地域の人と繰り返しかかわったことや、そのかわりを通して分かったことなど、自分にとって心に残った出来事を、新聞やポスター、パンフレットなど、伝えたいことに応じた適切な方法を選択して表現し、友達や地域の身近な人々と伝え合う活動を行うことを通して、身近な人々とかかわることの楽しさが分かるとともに、地域の人々と進んで交流することができる。
(1) ふりかえろうまちのすてきなできごと	○これまでに地域でかかわった人のことや、そのかわりを通して分かったことなどの、心に残った出来事について友達と話し合い、それらのことを、地域の人々に伝えたいという思いをもつ。
(2) まちの人につたえるじゅんぴをしよう	○地域でかかわった人のことやかわりを通して分かったこと、自分たちの地域のよさなどを、地域の人々に分かりやすく知らせるために、伝えたい内容に適した伝え方を選び、足りない情報をさらに集めるなどして、絵や文章などでまとめる。
(3) まちのすてきをつたえよう	○自分たちのまとめた表現作品を使って、友達や地域の人々に自分の伝えたい内容を伝えたり、感想を聞いたりする中で、身近な人々と伝え合うことの楽しさに気付く。
(4) はっぴょう会をひらこう	○地域でかかわった人々のことや、かわりを通して分かったことを、1年生や幼児、保護者、地域の人々などを学校に招待して伝えたり、感想を聞いたりして、身近な人々とかかわることの楽しさに気付く。
9 あしたへジャンプ	自分自身の成長に関心を持ち、これまでのことを振り返ることを通して、自分が大きくなったこと、できるようになったことや役割が増えたことなどを実感し、それらには、多くの人々の支えがあったことに気付くとともに、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、その気持ちを伝えるとともに、これからの自分自身の成長に願いを持ち、自信をもって意欲的に生活することができる。
(1) 大きくなった自分のことをふりかえろう	○入学してからの記録カードや表現作品、写真などを振り返り、自分でできるようになったことや、役割が増えたことなどに気付く。
(2) すてきなところを教え合おう	○友達やこれまでかかわってきた人などにインタビューし、自分や友達の頑張ったこと、成長したことを調べ、カードなどの方法を用いて表現することを通して、自分や友達の優しい気持ちや、他者への思いやりなど、内面的な成長に気付く。
(3) 大きくなった自分のことをまとめよう	○自分が大きくなったことや、できるようになったこと、役割が増えたことなどの中から、自分の成長を表すのに最適な出来事を選び、表現方法を考え、工夫しながら作品にまとめる。
(4) ありがとうをとどけよう	○これまでお世話になった人がいることに気付き、その人たちへの感謝の気持ちをもつとともに、その気持ちを伝えるために、相手や内容に応じた方法を考え、表現する。
(5) すてきな3年生になろう	○3年生になったらどんなことをするのか、何を頑張りたいのかなどについて考えたり、3年生の教室に行ってお話をしたり、調べたりすることを通して、進級やこれからの生活への意欲や期待感、自分なりの目標をもつ。